

2020年度 社会福祉法人 誠真会 事業計画

2020年を迎え、オリンピックが終わる9月頃までは日本経済も好調を維持するものと考えていました。しかし、2月からの新型コロナウイルスによる影響により日本は混迷を極めていきます。各企業、先行きは不透明で業績への影響は避けられず、深刻な経済状況に突入していくと思われれます。そして、我々の業界にもその影響が及ぶでしょう。各施設の稼働率の低下により売上げは減少し、この状況は長期間に及ぶと考えられます。また、施設利用者等を感じる者が発生した場合、施設閉鎖をしなければならぬでしょう。休業中も設備費や人件費などの固定費はかかり続け、法人存続に関わる事態が生じる恐れがあります。多くの資金が流出するため、法人の基礎体力の維持に努めたい。

保育園は、社会生活を維持する必要な業種に就く方のために、保育を提供し続けなければならぬ。小さい子供相手には感染予防もままならず、現場の保育士の不安も大きい。長期戦とも考えられることからソフト、ハード面でも感染予防対策を進めていきたい。

グループホームなどでは、各従業員はじめ入所者の健康管理の徹底し、感染症を対応しないように対策を講じる。面会制限も長期に及ぶことから、面会のデジタル化を検討したい。

感染予防対策に多くの経費が発生し長期に及ぶことから、今年度は非常に厳しい運営になると考えられます。関係各所からの支援策を活用しながら、この難局を乗り越えたい。